

平成21年5月期 第1四半期決算短信

平成20年10月6日

上場会社名 カネコ種苗株式会社
 コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 長谷 浩克
 四半期報告書提出予定日 平成20年10月14日

上場取引所 JQ

TEL 027-251-1619

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年5月期第1四半期の連結業績(平成20年6月1日～平成20年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年5月期第1四半期	10,089	—	248	—	265	—	139	—
20年5月期第1四半期	9,939	△2.7	170	9.6	179	4.6	108	5.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年5月期第1四半期	11.92	—
20年5月期第1四半期	9.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年5月期第1四半期	31,637	9,716	30.7	833.13
20年5月期	34,012	9,761	28.7	837.00

(参考) 自己資本 21年5月期第1四半期 9,716百万円 20年5月期 9,761百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭				
20年5月期	—	6.00	—	8.00	14.00
21年5月期	—	—	—	—	—
21年5月期(予想)	—	6.00	—	8.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年5月期の連結業績予想(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	18,600	—	180	—	200	—	110	—	9.43
通期	45,000	2.4	1,270	7.3	1,300	8.6	700	7.0	60.02

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年5月期第1四半期	11,772,626株	20年5月期	11,772,626株
② 期末自己株式数	21年5月期第1四半期	110,106株	20年5月期	109,625株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年5月期第1四半期	11,662,702株	20年5月期第1四半期	11,664,506株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に起因する世界的な金融不安や株価の低迷、直近では、やや下落がみられるものの、引続き高水準で推移している原油価格や穀物価格、さらには、マンションの販売不振や公共工事削減等に伴い、上場企業を含む不動産・建設業者の倒産が頻発するなど、景気後退色が強まりました。また、国内農業の状況は、農業従事者の高齢化等の構造問題に加え、肥料・燃料及び飼料価格等の高騰によるコスト増により、これまで以上に農家経営を圧迫する厳しい状況となっております。こうしたなか、当第1四半期の連結業績は種苗事業が順調に推移したこと等により、売上高100億89百万円、営業利益2億48百万円、経常利益2億65百万円、四半期純利益1億39百万円となり、前年同期と比較して売上高・利益面とも伸長いたしました。

事業の種類別セグメントごとの概況は以下のとおりであります。

(種苗事業)

タマネギの輸出が伸長したことや、購入飼料高騰の影響を受け、自給飼料が増産傾向にあること等により飼料作物種子が売上増となるなど順調に推移いたしました。

(花き事業)

家庭園芸の新たな担い手である団塊の世代の需要増等の結果、野菜苗を中心とした菜園資材が順調に推移いたしました。

(農材事業)

今後値上りが見込まれる農薬に対する需要増が発生したものの、病害虫の発生が少なかった影響等から、前年並の売上となりました。

(施設材事業)

原材料価格高騰から農業用施設材も依然値上り基調にあり、今後の更なる値上げを見越し、現行価格での生産資材等の更新需要が発生したものの、養液栽培システムの完工売上高が減少したこと等により、前年並の売上となりました。

(造園事業)

公共工事が低迷するなか、厳しい状況が続いております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、316億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億74百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

また「負債の部」の残高は、219億21百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億29百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

「純資産の部」の残高は、97億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して微減となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は14億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億33百万円増加いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に仕入債務の減少額が売上債権の減少額を上回ったことにより、資金は23億78百万円減少いたしました。

営業活動により不足した資金を短期借入金で調達したため、財務活動によるキャッシュ・フローは28億64百万円増加いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入により、資金は47百万円増加いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月期の連結業績予想につきましては、花き・施設材・造園の各事業では、大きな変動は見込まないものの、種苗事業において、野菜種子や飼料作物種子の伸長が期待できること、また、農材事業において、被覆肥料及び農薬を絡めた営業推進等による相乗効果を見込み、増収増益を見込んでおります。なお、連結業績予想数値につきましては、平成20年7月24日の決算短信にて公表したものと変更はありません。また、配当につきましては、現在の株主への配当を充実するとともに、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを、これまでの配当政策の基本方針とし、今期も同様の方針としております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

(イ) 一般債権の貸倒見積高の算定方法については、当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

(ロ) 固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

(ハ) たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、これによる売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,817,110	1,283,704
受取手形及び売掛金	16,297,155	19,459,039
商品	4,083,517	4,124,103
その他	1,167,024	742,603
貸倒引当金	△57,021	△68,012
流動資産合計	23,307,786	25,541,438
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,086,898	4,086,898
その他(純額)	1,958,766	1,991,447
有形固定資産	6,045,665	6,078,346
無形固定資産		
投資その他の資産	206,769	214,438
その他	2,269,482	2,360,250
貸倒引当金	△191,730	△181,694
投資その他の資産合計	2,077,751	2,178,556
固定資産合計	8,330,186	8,471,341
資産合計	31,637,972	34,012,779
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,709,882	18,484,370
短期借入金	6,253,766	3,313,766
未払法人税等	103,315	282,080
その他	643,042	946,639
流動負債合計	20,710,006	23,026,856
固定負債		
長期借入金	7,166	10,749
退職給付引当金	991,198	1,003,485
役員退職慰労引当金	185,780	182,480
その他	27,402	27,333
固定負債合計	1,211,547	1,224,047
負債合計	21,921,554	24,250,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,752,017	1,752,017
利益剰余金	6,289,542	6,243,841
自己株式	△64,710	△64,330
株主資本合計	9,468,117	9,422,796
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	248,300	339,079
評価・換算差額等合計	248,300	339,079
純資産合計	9,716,418	9,761,876
負債純資産合計	31,637,972	34,012,779

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)
売上高	10,089,134
売上原価	8,344,637
売上総利益	1,744,497
販売費及び一般管理費	1,496,279
営業利益	248,217
営業外収益	
受取配当金	11,642
受取家賃	12,790
その他	12,374
営業外収益合計	36,807
営業外費用	
支払利息	17,991
その他	1,469
営業外費用合計	19,461
経常利益	265,563
特別利益	
貸倒引当金戻入額	954
特別利益合計	954
特別損失	
投資有価証券評価損	26,397
その他	1,095
特別損失合計	27,493
税金等調整前四半期純利益	239,025
法人税等	100,020
四半期純利益	139,005

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	239,025
減価償却費	52,678
売上債権の増減額(△は増加)	3,135,429
たな卸資産の増減額(△は増加)	△63,844
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,162,812
その他	△295,619
小計	△2,095,143
法人税等の支払額	△278,717
その他の支出	△4,758
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,378,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△16,155
投資有価証券の売却による収入	64,573
その他	△459
投資活動によるキャッシュ・フロー	47,959
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,940,000
配当金の支払額	△71,972
その他	△3,962
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,864,064
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	533,405
現金及び現金同等物の期首残高	895,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,428,610

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成20年8月31日）

	種苗事業 (千円)	花き事業 (千円)	農材事業 (千円)	施設材事業 (千円)	造園事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	1,672,814	2,205,324	4,416,957	1,738,426	55,613	10,089,134	—	10,089,134
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,631	188	145	3,624	—	11,588	(11,588)	—
計	1,680,445	2,205,512	4,417,102	1,742,050	55,613	10,100,722	(11,588)	10,089,134
営業利益又は営業損失(△)	335,874	△31,828	122,338	21,431	△2,625	445,190	(196,973)	248,217

(注) 1. 事業区分の方法

売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要製品

事業区分	主要製品
種苗事業	野菜種苗、飼料作物種子、緑化工事用種子、ウイルスフリー種苗
花き事業	球根、花苗、家庭園芸用資材
農材事業	農業用薬品、被覆肥料
施設材事業	農業関連資材、温室・養液栽培システムの設計施工
造園事業	造園・土木工事の請負施工

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成20年8月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成20年8月31日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年6月1日～8月31日)

(単位:千円)

科目	前年同四半期 (平成20年5月期 第1四半期)
	金額
I 売上高	9,939,686
II 売上原価	8,283,332
売上総利益	1,656,354
III 販売費及び一般管理費	1,485,531
営業利益	170,822
IV 営業外収益	29,971
V 営業外費用	21,732
経常利益	179,061
VI 特別利益	10,739
VII 特別損失	197
税金等調整前四半期純利益	189,603
税金費用	81,020
四半期純利益	108,583

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年6月1日～8月31日)

(単位:千円)

	前年同四半期 (平成20年5月期 第1四半期)
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	189,603
減価償却費	50,381
売上債権の減少額	4,505,049
たな卸資産の減少額	5,688
仕入債務の減少額	△6,917,056
その他	△301,084
小計	△2,467,418
法人税等の支払額	△237,156
その他	△7,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,712,494
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△22,990
その他	4,748
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,242
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額	3,945,000
配当金の支払額	△69,047
その他	△4,118
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,871,834
IV 現金及び現金同等物の増加額	1,141,096
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,184,173
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,325,269

(3) セグメント情報

事業の種類別売上高

前第1四半期連結累計期間(平成19年6月1日～8月31日)

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	造園事業	合計
売上高	1,581,512	2,086,284	4,486,947	1,747,124	37,817	9,939,686